信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設研究業績　45：9—16（2008）

＜資料＞

信州大学志賀自然教育園ロックガーデンの植物目録

池谷友希子*・井田秀行*,1

A list of plants of the rock garden in the Shiga-kogen Nature Study Garden, central Japan. Yukiko IKETANI and Hideyuki IDA[1] (Institute of Nature Education in Shiga Heights, Faculty of Education, Shinshu University, Shiga-kogen, Yamanouchi-machi, Nagano 381-0401, Japan. [1)]E-mail : pida@shinshu-u.ac.jp) *Bulletin of the Institute of Nature Education in Shiga Heights, Shinshu University* **45** : 9-16 (2008).

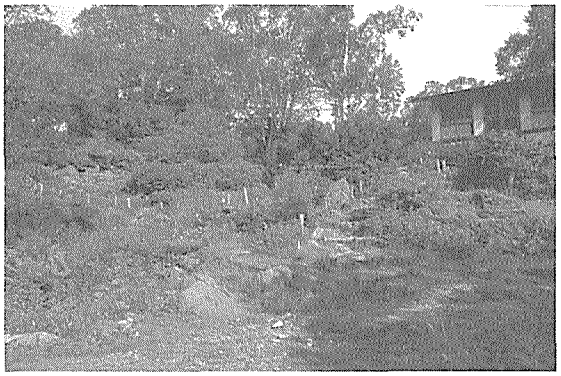
志賀自然教育園の概要

信州大学志賀自然教育園は，上信越国立公園志賀高原の中心を成す志賀山（2035m）の北麓標高1550m～1770mの間，長池湖畔一帯に広がっている（約100ha）。園内には延べ約4kmにおよぶ自然観察路が整備され，亜高山帯の動植物，湖沼，高層湿原および渦巻状熔岸流地形などを見ることができる。これらは国の自然公園法により特別保護地区ないし特別地域に指定されている。

当教育園は，「自然に親しみ，その雰囲気にひたりながら自然の構造や歴史を理解し，自然と人との関わりについて考える場」として昭和29年（1954年）に創立され，そのねらいは今も変わらない。その後，昭和41年（1966年）には文部省（現文部科学省）の認可を受け，現在の信州大学教育学部附属自然教育研究施設附属の自然教育園となった。信州大学教育学部生の自然教育実習をはじめ，他学部や他大学学生の野外実習，生態学や地球科学等の野外研究，公開講座等の場となっているほか，現在は，生徒児童の遠足・修学旅行にも利用され，一般の参観者も多数訪れている。

ロックガーデン

当教育園には，資料館，ロックガーデンが併設されている。資料館は，志賀高原の自然に関する解説と標本を展示しており，小規模ながら博物館相当施設の指定を受けている。その資料館に隣接するロックガーデンは，高山植物を当園の創設時，志賀高原や日本アルプスなどから移植した教材園で，当時の教官や学生が手作業で造りあげた。移植された植物の各自生地が自然保護区としての規制がなかった時代の産物であるだけに，今となっては貴重な教材園といえる。数十種類の高山植物が，岩を配置した園庭に植栽されているが，なかには路傍などに自生しているものもある。高山植物は通常，夏に開花するものが多いが，当園では高山よりも低標高にあるため，5～6月から開花するものもあり，わざわざ高山にまで出かけなくても気軽に可憐な花々を楽しむことができる。



ロックガーデン（手前）と資料館（右奥）

参考文献

環境庁（1997）植物版レッドリスト．環境庁，東京．
長野県（2002）長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～維管束植物編．長野県．
長野県植物誌編纂委員会（1997）長野県植物誌．信濃毎日新聞社，長野．
大井次三郎・北川政夫（1992）新日本植物誌顕花編改訂版．至文堂．
小野幹雄・林弥栄（1987）原色高山植物大図鑑．北隆館．
渡辺隆一・行田哲夫・渡辺五男（1988）志賀高原の植物．信濃毎日新聞社，長野．

*信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設（[1)]連絡先〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原 E-mail : pida@shinshu-u.ac.jp）

信州大学志賀自然教育園ロックガーデンの植物目録

1．本目録は，信州大学志賀自然教育園ロックガーデンにおける2007年現在の顕花植物のリストで，路傍の外来牧草類を除く自生種および植栽種を記載した。
2．和名，学名および科，属，種の配列は，「新日本植物誌顕花編改訂版」（大井・北川 1992）に準拠し，未掲載の場合は「長野県植物誌」（長野県植物誌編纂委員会 1997）に拠った。
3．開花時期・分布等は，「原色高山植物大図鑑」（小野・林 1987），「志賀高原の植物」（渡辺ほか 1988），「長野県植物誌」（長野県植物誌編纂委員会 1997）を参考にした。
4．表記は，標準和名，ラテン名，（花期），分布，付記の順である。

サトイモ科

1．**ミズバショウ　Lysichiton camtschatcense**（4～6月）本州中部以北，北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，東シベリア。高層湿原，湿地に生える多年草。白い仏炎苞で有名。花の後，葉が生長し巨大になる。

ユリ科

2．**イワショウブ　Tofieldia japonica**（8～9月）本州伯　大山以北の低山帯上部から亜高山帯。山中の湿気の多いところに生える。葉は茎の下部につき，直立する。
3．**キンコウカ　Narthecium asiaticum**（7月）本州近畿以北，北海道およびカリフォルニア，オレゴン州南部。高山の湿気の多い草原に生える。葉は中脈から折りたたまれ，裏が表になる。
4．**コバイケイソウ　Veratrum stamineum**（7～8月）本州中部地方以北，北海道サロベツ，芦別岳，アポイ山，ペデガリ岳，無意根山，ニセコの高山帯から亜高山帯。湿った草地に生える多年草。花に近寄ると鼻をつく匂いがする。
5．**アオヤギソウ　Veratrum maackii var. parviflorum**（6～8月）本州（北・中部），北海道および朝鮮半島。和名（青柳草）は緑色の花と柳に似た葉の様子から。
6．**コバギボウシ　Hosta albo-marginata**（7月）九州，四国，本州（中部・関東・東北地方）。池や湿原の縁に生える湿生植物。
7．**オオバギボウシ　Hosta montana**（7～8月）本州中・北部，北海道。スキー場や山腹の草地に大群落を作っている。花はコバギボウシよりやや淡い紫色。
8．**ゼンテイカ　Hemerocallis esculenta**（7月）本州中部以北。ニッコウキスゲの名前で知られている。志賀高原でみられるものはほとんど移植されたもの。わずかだが自生もあるらしい。
9．**コオニユリ　Lilium leichtliuii var. tigrinum**（8月）日本各地および朝鮮半島，中国東北部，ウスリー。湿原の縁などに群生し，赤い大きな花がよく目立つ。
10．**ツバメオモト　Clintonia udensis**（6月）東アジアの亜寒帯に分布。本州近畿以北，北海道。濃紺色の実をツバメの頭に見立てたものといわれている。
11．**ユキザサ　Smilacina japonica**（6月）九州から北海道および朝鮮半島。群生し，茎の先端に白い花穂をつける。
12．**マイヅルソウ　Maianthemum dilatatum**（6月）日本各地および千島，サハリン，カムチャッカ，朝鮮半島，中国東北部，シベリア東部，北米北西部。葉を2枚広げた姿を鶴の舞う姿にたとえた。茎頂に白い小さな花を多数つける。
13．**スズラン　Convallaria keiskei**（6月）九州，本州中・北部，北海道および樺太，朝鮮半島，中国，東シベリア，ウスリー。花は白色で芳香がある。キミカゲソウという名前もある。
14．**ツクバネソウ　Paris tetraphylla**（6～7月）九州から北海道。4枚輪生する葉を，羽根つきの羽根にたとえた（衝羽根草）。
15．**ネバリノギラン　Aletris foliata**（7～8月）九州から北海道。花序などに腺毛があり，ねばる。

アヤメ科

16．**ヒオウギアヤメ　Iris setosa**（7月）本州中部地方，北海道。高層湿原，湿地に生える多年草。この花を求めて志賀高原に来る人も多い。
17．**シガアヤメ　Iris×setosothunbergii**（7月）長野県（志賀高原）固有。1931年志賀高原で発見されたアヤメとヒオウギアヤメの中間種。

ラン科

18．**テガタチドリ　Gymnadenia conopsea**（7月）

本州中・北部，北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，朝鮮半島，中国，シベリア，ヨーロッパ，アムール，ウスリー。高原から高地の草地にところどころ見られ，高さ50cmほどにもなる。

キンポウゲ科

19. **クサボタン　Clematis stans**（7～9月）本州。日本固有種。茎の下部は木化する。花は淡紫色の狭鐘型で先が反り返る。

20. **ウマノアシガタ　Ranunculus japonicus**（4～5月）日本各地および朝鮮半島，中国，ウスリー，台湾。別名キンポウゲ。花弁は黄色で光沢がある。

21. **ミヤマキンポウゲ　Ranunculus acris var. nipponicus**（6～7月）本州中部以北，北海道。ウマノアシガタよりもやや大形。花に光沢がある。

22. **ヤマオダマキ　Aquilegia buergeriana**（6～7月）九州，四国，本州の山地。花全体がクリーム色のものをキバナノヤマオダマキ Aquilegia buergeriana f. flavescens という。

23. **ミツバオウレン　Coptis trifolia**（6月）本州中部地方以北から北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，東シベリア，ウスリー，北米の温帯から寒帯。高地の湿った草地や湿原に多い。志賀高原全域で見ることができ，群生する。葉が3枚に分かれている。

24. **シラネアオイ　Glaucidium palmatum**（6月）本州中部地方以北，北海道。日本固有種。多雪地の山地に生える。ロックガーデンのものは自生ではなく移植したものである。

ケシ科

25. **コマクサ　Dicentra peregrina**（7～8月）本州中部以北，北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，シベリア東部。花冠の形が馬の顔に似ていることから。

モウセンゴケ科

26. **モウセンゴケ　Drosera rotundifolia**（7～8月）九州屋久島から北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，朝鮮半島，中国東北部。食虫植物。志賀高原の湿原ではどこでも見られる。花の期間が短い。

ユキノシタ科

27. **ダイモンジソウ　Saxifraga fortunei var. incisolobata**（8～9月）九州から北海道および千島，サハリン，朝鮮半島，中国，ウスリー。山地や高山の湿った岩の上などに生える多年草。品種が多い。

28. **ウメバチソウ　Parnassia palustris**（8～9月）九州から北海道および台湾，千島，サハリンの東アジアの温帯から寒帯。高原の湿原や湿った草地に生える。花茎の先端に梅鉢紋に似た白い花を1個，上向きにつける。

バラ科

29. **シロバナノヘビイチゴ　Fragaria nipponica**（6月）本州宮城県から中部地方，屋久島，済州山，サハリン。果実は赤く熟し食べられる。

30. **キジムシロ　Potentilla fragarioides var. major**（5～7月）九州から北海道およびシベリア，ウスリー，朝鮮半島，沿海州。5～9枚の小葉をもつ羽状複葉。

31. **ミツバツチグリ　Potentilla freyniana**（5～7月）九州から北海道および朝鮮半島，アムール。キジムシロと似ているが，小葉が3枚しかない点で見分けられる。

32. **ダイコンソウ　Geum japonicum**（7月）九州から北海道および中国。根生葉が大根の葉に似ていることから。

33. **ミヤマダイコンソウ　Geum calthaefolium var. nipponicum**（7月）四国石鎚山，剣山，本州大峰山と中部地方以北，北海道および千島。日本固有種。花や種子の形でダイコンソウと見分けがつく。

34. **ワレモコウ　Sanguisorba officinalis**（9～10月）九州，本州，北海道およびシベリア，朝鮮半島，中国，ヨーロッパ。葉からスイカの匂いがするためスイカグサと呼ばれることもある。秋の草地によく見られる。

35. **カライトソウ　Sanguisorba hakusanensis**（8月）本州中部主に日本海側の亜高山から高山帯。紅紫色の穂状花序が目を引く。

36. **タカネイバラ　Rosa acicularis var. nipponensis**（6月）四国，本州東北地方南部から中部地方。高嶺に咲くバラ。日本に十数種あるバラ属の野生種のうちの一つ。

フウロソウ科

37. **グンナイフウロ　Geranium eriostemon var. reinii**（6～8月）本州中・北部，北海道西部。

日本固有種。山梨県東部の郡内（桂川流域の古名）で発見されたことが由来。

38. **ハクサンフウロ Geranium yesoense var. nipponicum**（6～7月）本州。日本固有種。石川県白山で発見されたので名付けられた。

39. **ゲンノショウコ Geranium thunbergii**（7～9月）九州から北海道。薬として使われることで有名。西日本は白花，東日本は紫紅花が多いといわれている。

ガンコウラン科

40. **ガンコウラン Empetrum nigrum var. japonicum**（5～6月）本州中部以北，北海道および千島，サハリン，朝鮮半島，中国，東シベリア。高山帯の露地に生える常緑のきわめて小さい低木。花に比べ実が径1cmほどと大きく，食べられる。

ニシキギ科

41. **クロヅル Tripterygium regelii**（7月）本州，四国，九州および朝鮮半島，中国東北部。つる性低木。クロヅルという名前だがつるは赤い。

カエデ科

42. **ハウチワカエデ Acer japonicum**（5月）本州，北海道の低山帯。葉が出る頃に花をつける。紅葉が美しい。

オトギリソウ科

43. **オトギリソウ Hypericum erectum**（7～8月）九州から北海道および樺太，朝鮮半島。花は日中だけ開く。茎や葉は民間薬に使われる。変異が多く，多数の変種や亜種がある。

スミレ科

44. **オオバキスミレ Viola brevistipulata**（6～7月）本州近畿北部以北の主に日本海側，北海道。大型のスミレ。日本海側の多雪地帯に広く分布する。

セリ科

45. **シラネニンジン Tilingia ajanensis**（7～8月）本州中部以北，北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，オホーツク海沿岸地方，シベリア東部。日光白根山で始めて採取されたことによる。枝先に白い小さな花を多数つける。

ミズキ科

46. **ゴゼンタチバナ Cornus canadensis**（6月）四国石鎚山，本州中部以北，北海道および千島，サハリン，朝鮮半島，東アジア，北米北部，グリーンランド。葉の数が6枚になって初めて花が咲く。秋には赤い実を数個つける。

イワウメ科

47. **イワカガミ Shortia soldanelloides**（5～6月）九州から北海道。高山帯から低山帯上部の草地や，やや湿った岩場に生える常緑の多年草。名前の由来は葉に光沢があることから。

48. **コイワカガミ Shortia soldanelloides f. alpina**（6～7月）本州中部。高山帯のハイマツの林縁や乾燥した草地またはやや湿った岩礫地に生える多年草。

イチヤクソウ科

49. **マルバノイチヤクソウ Pyrola nephrophylla**（7月）九州から北海道および南千島。針葉樹林などのやや薄暗い林床に生える

50. **ベニバナイチヤクソウ Pyrola incarnata**（6～7月）本州中部以北，北海道および朝鮮半島，中国東北部，シベリア，カムチャッカ，アラスカ。花茎が直立し高さ約20cmほどになる。

51. **ギンリョウソウ Monotropastrum globosum**（6～7月）沖縄から北海道および千島，サハリン，朝鮮半島，中国，ヒマラヤ，インドシナ。亜高山帯から低山帯の湿潤で暗い林内の腐植土の上に生える腐生植物。葉緑素を持っていないため白い。別名ユウレイタケ。

ツツジ科

52. **ミヤマホツツジ Tripetaleia bracteata**（7月）本州の鳥取大山・蒜山と加賀白山以北，北海道。高山帯に生える落葉低木。花冠の先端は反りぎみになる。

53. **キバナシャクナゲ Rhododendron aureum**（7月）本州中部地方以北，北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，シベリア，朝鮮北部。高山帯のハイマツ林や適潤な岩石地に生える常緑低木。

54. **ムラサキヤシオ Rhododendron albrechtii**（5～6月）本州中部以北，北海道。ツツジ属の中では最も早く，葉より先に花をつける。志賀高原の全域に分布する。

55. レンゲツツジ **Rhododendron japonicum**（6月）九州から北海道西南部。多数のオレンジ色の花が咲き，観光客に人気がある。植栽されているものが多い。

56. ツガザクラ **Phyllodoce nipponica**（7月）本州東北地方から鳥取大山，四国東赤石山。常緑の小低木。葉がツガ（栂）のようであり，花はサクラ（桜）のようであることから。

57. アオノツガザクラ **Phyllodoce aleutica**（7～8月）本州中部以北，北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，アリューシャン，アラスカ。花の色が緑白色のツガザクラ。

58. ミネズオウ **Loiseleuria procumbens**（6月）本州中部以北，北海道およびアジア，ヨーロッパ，北米。きわめて小型の常緑低木。花期が短く，花も細かいため咲いているかどうかよく分からない。

59. イワナシ **Epigaea asiatica**（4～5月）本州島根県以東の日本海側，北海道西南部の低山帯上部から亜高山帯。果実は径1cmくらい，梨のような味がする。

60. ヒメシャクナゲ **Andromeda polifolia**（6月）本州中部以北，北海道および千島，サハリン，朝鮮半島，中国ほか北半球の亜寒帯に広く分布。志賀高原の高層湿原で見られる。小さなつぼ型の花を咲かせる。

61. サラサドウダン **Enkianthus campanulatus**（7月）本州近畿以北，北海道。花冠に更紗染のような模様があるところから。

62. シラタマノキ **Gaultheria miqueliana**（6月）本州三瓶山，加賀白山以北，北海道および千島，サハリン，アリューシャン。別名シロモノ。果実は白色でサロメチール臭がある。

63. アカモノ **Gaultheria adenothrix**（7月）四国，本州，北海道。別名イワハゼ。志賀高原に広く分布している。夏には赤い実をつけ，食べられる。

64. コケモモ **Vaccinium vitis-idaea var. minus**（6～7月）九州から北海道および千島，サハリン，朝鮮半島ほか北半球の亜寒帯から寒帯に分布。花も実もたくさんつく。食べられる。樺太では酒も作られる。

サクラソウ科

65. ツマトリソウ **Trientalis europaea**（6月）北半球の亜寒帯に広く分布。北海道，本州中部地方以北，四国および千島，サハリン，朝鮮半島，シベリア東部，アラスカ，ヨーロッパの高山帯下部から低山帯。花びらの先（褄）が赤く色づくことから。

66. コナスビ **Lysimachia japonica**（6～7月）日本各地および台湾，中国，マレーシア。果実を小さなナスにたとえたもの。道端などでも普通に見られる。

リンドウ科

67. ハナイカリ **Halenia corniculata**（8～9月）アジア，ヨーロッパ東部の温帯。和名は花形が船具の碇に似るから。

68. エゾリンドウ **Gentiana triflora var. japonica**（8～9月）本州近畿地方北部以北，北海道および千島，サハリン。咲き出すと秋を感じる花。志賀高原のいたる所で見られる。

69. アケボノソウ **Swertia bimaculata**（9月）日本各地。花冠裂片につく斑点が特徴的。

70. ミツガシワ **Menyanthes trifoliata**（4～6月）北半球の亜寒帯から寒帯。沼や沢などの湿地に生える多年生の水草。花冠は5裂し，裂片の内面には白毛を密生する。

71. イワイチョウ **Fauria crista-galli**（7月）本州中部以北，北海道および千島，北米北西部の寒帯。高山の湿原に生える。葉の形がイチョウに似ている。

シソ科

72. ウツボグサ **Prunella vulgaris var. lilacina**（6～8月）東アジアの温帯全般に分布。日本各地の草地で普通に見られる。花穂の様子を弓矢を入れる靫（ウツボ）に見立てた。

73. イブキジャコウソウ **Thymus quinquecostatus**（6～8月）北海道，本州，九州および朝鮮半島，中国，モンゴル，ヒマラヤ。茎は地上をはう。全体に芳香があり，薬用，香料用として用いられる。

ゴマノハグサ科

74. ミヤマクワガタ **Veronica schmidtiana var. bandaiana**（7月）本州中部。茎が直立し，高さ10～15cmになる。

75. クガイソウ **Veronicastrum sibiricum**（8月）日本各地およびシベリア，ウスリー，朝鮮半島，中国北部。高原の日当たりのよい草地などでよく見られる。アサギマダラやヒョウモンチョウ類など多くの夏の昆虫が集まる花である。

76. **エゾシオガマ Pedicularis yesoensis**（7～9月）本州中部以北，北海道およびサハリン南部。特徴的な花のつき方をする。シオガマ（塩竈）は海岸の風景に見られるもの。

オミナエシ科

77. **コキンレイカ Patrinia triloba var. triloba**（7～8月）本州中部以北（主に日本海側）。ハクサンオミナエシ（白山女郎花）ともいう。高山では高さ15cmほどだが低地では30～50cmになる。

キキョウ科

78. **ツリガネニンジン Adenophora triphylla var. japonica**（8～9月）九州から北海道およびサハリン，南千島。低地から高原まで幅広く見られる。ベル状の小さな花が数段にわたって輪生する。若芽はトトキといい食用になる。

79. **ヤマホタルブクロ Campanula punctata var. hondoensis**（6～7月）本州近畿・中部・関東地方。ホタルブクロ Campanula punctata の山地生のもの。萼片の湾入部に付属体がないことで見分けられる。

キク科

80. **ヤマハハコ Anaphalis margaritacea var. augustior**（6～9月）本州中部以北，北海道および千島，サハリン，カムチャッカ，中国，ヒマラヤの温帯。白色の乾燥した感じの花を多数つける。ドライフラワーに向いている。

81. **ヨツバヒヨドリ Eupatorium chinense var. sachalinense**（8～9月）四国，本州近畿地方以北，北海道および千島，サハリン低山帯の湿地に生える。本種は同属の多種に比べ，葉が輪生する点で区別できる。

82. **アキノキリンソウ Solidago virga-aurea var. asiatica**（8～10月）九州，四国，本州および朝鮮半島。とても花期が長く，全域（低地から高地まで）の草地の他，森林内などどこでも見られる。

83. **ヒメジョオン Erigeron annuus**（8～9月）日本各地。北米原産。明治維新直前に渡来。

84. **ゴマナ Aster glehnii var. hondoensis**（9月）本州。背が高く白い花をたくさんつけるのでよく目立つ。

85. **セイヨウノコギリソウ Achillea millefolium**（7～9月）ヨーロッパ全域，アジア，北米。1900年小石川植物園で最初に栽培されたヨーロッパ原産の帰化植物。

86. **イワインチン Chrysanthemum rupestre**（8～9月）本州中部地方以北。根や茎は木化し，高さ10～30cmになる。別名イワヨモギ。

87. **ノアザミ Cirsium japonicum**（7～9月）九州，四国，本州。平地に普通に生える。変異が多く，切花にも利用される。

88. **オニアザミ Cirsium nipponense**（7～8月）本州中部地方以北。巨大でとげがある。花は下を向いて付く。

89. **ニガナ Ixeris dentata**（5～9月）日本各地および南千島，朝鮮半島。茎や葉に苦味のある白い乳液を含んでいる。日本全土の山地や丘陵にもっとも普通な多年草。

90. **ハナニガナ Ixeris dentata f. amplifolia**（5～9月）日本各地および南千島，朝鮮半島。ニガナに散発的に混じって生える。まれに白花のシロバナハナニガナ Ixeris dentata var. albiflora がある。

91. **フランスギク Leucanthemum vulgare**（6～10月）日本各地。ヨーロッパ～西アジア原産。園芸植物として江戸時代末期に渡来した。


Tofieldia japonica Aug. 18. 2005


Hosta albo-marginata July 12. 2004


Hemerocallis esculenta July 3. 2007


Clintonia udensis June 16. 2007


Iris setosa July 3. 2007


Iris×*setosothunbergii* July 3. 2007


Coptis trifolia June 7. 2004


Glaucidium palmatum June 8. 2007


Dicentra peregrina July 3. 2007


Drosera rotundifolia Aug. 5. 2007


Saxifraga fortunei var. *incisolobata* Sep. 18. 2007


Parnassia palustris June 31. 2007


Sanguisorba officinalis Aug. 3. 2007


Sanguisorba hakusanensis July 27. 2007


Rosa acicularis var. *nipponensis* July 3. 2007


Geranium yesoense var. *nipponicum* July 3. 2007


Viola brevistipulata June 8. 2007


Cornus canadensis June 19. 2007


Shortia soldanelloides June 8. 2007


Pyrola incarnata June 14. 2004


Monotropastrum globosum June 3. 2007


Rhododendron japonicum June 14. 2004


Phyllodoce aleutica Aug. 3. 2007


Phyllodoce nipponica June 8. 2007


Loiseleuria procumbens May 21. 2004


Epigaea asiatica May 27. 2007


Andromeda polifolia June 19. 2007


Gaultheria adenothrix June 26. 2007


Gaultheria miqueliana July 12. 2004


Vaccinium vitis-idaea var. *minus* June 19. 2007


Gentiana triflora var. *japonica* Sep. 4. 2007


Menyanthes trifoliata June 8. 2007


Fauria crista-galli June 19. 2007


Veronica schmidtiana var. *bandaiana* June 19. 2007


Patrinia triloba var. *triloba* Aug. 8. 2006


Chrysanthemum rupestre Sep. 18. 2007